

戦後 70 年
平和企画

戦後を語る 70のカタチ

2015年
10月20日(火)～12月13日(日)

立命館大学国際平和ミュージアム 中野記念ホール

開館時間／9:30～16:30(入館は16:00まで)
休館日／月曜日(ただし、11月23日(月・祝)は開館)
11月4日(水)、11月24日(火)
参観料／大人400円(350円)、中・高生300円(250円)
小学生200円(150円)

※常設展も併せてご覧いただけます。
上記()内は20名以上の団体料金です。
※関西文化の日 11月14日(土)、15日(日)は入館無料です。

■主催／立命館大学国際平和ミュージアム
■後援／京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
京都市内博物館施設連絡協議会、NHK京都放送局
KBS京都、朝日新聞社、京都新聞、毎日新聞社、読売新聞社



立命館大学
国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University



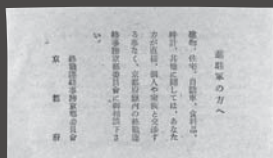
京博連

戦後を語る 70のカタチ

戦後70年、日本は戦争を放棄して平和国家となりました。しかし今、私たちはあの戦争とどのように向き合ってきたのか、その後の社会をどのように築いてきたかを問われています。2015年度秋季特別展『戦後を語る70のカタチ』では、戦後70年にちなみ、私たちにそうしたことを問いかける70件の資料を展示します。

満州事変から15年に及んだ戦争に敗れた1945年、日本は多くの生命と財産を失い、私たちは今もそこからの復興の歩みを記憶にとどめています。敗戦直後の焼け野原の風景、テレビやラジオなどのように戦後の日常を彩り生活を変えた品々、東京オリンピックや万博のような華やかなイベントなどは多くの人々の記憶に今なお鮮明に浮かび上がります。また、戦犯裁判、引き揚げ、戦後開拓など、戦争の影響や戦前から継続する政治や経済の流れを問う歴史的資料、反核運動など戦争への反省の立場から平和を求める市民運動を伝える資料など、戦後には、それを語る多様なカタチ(=資料)があります。

戦後70年に当たる本年、これらの資料を通して、戦後の時代と出来事について考える機会となることを目的として開催します。



【チラシ「進駐軍の方へ」／1945年頃】

1945

終戦連絡事務局京都委員会から進駐軍へ向けて、建物、住宅、自動車、食料品などは、直接個人と交渉することなく京都府庁内に設置された委員会まで相談するようにと伝える内容。裏面は英語で同様に書かれている。



【極東国際軍事裁判傍聴券／1946年、1947年】

1946 1947

極東国際軍事裁判(東京裁判)は、一五年戦争の指導者たちを連合国が裁いたもので、1946年5月から1948年4月まで審理が行われ、同年11月に判決が朗読された。

1950



【「わだつみのこえ」第1号／1950年】

1950年4月に創立された日本戦没学生記念会が発行。

1958



【写真「白山丸」／1958年9月7日】

1941年竣工の貨客船。戦後は、満州に留やシベリア抑留の引揚者帰還に貢献した。写真は、1958年9月7日、樺太真岡町から舞鶴へ帰港した様子。

1969



【雑誌「週刊アンボ」創刊号／1969年】

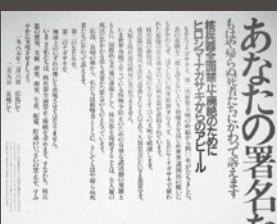
雑誌「週刊アンボ」は、「ベトナムに平和を!市民連合」を結成した小田実の編集発行で「ベトナム反戦」「沖縄返還」「安保破棄」などの課題を問いかける記事が掲載された。

1970



【パンフレット「みんなの万国博」／1970年】

1970年3月、「人類の進歩と調和」というテーマを掲げ、日本万国博覧会(大阪万博)が開幕した。



1985

【ポスター「あなたの署名を もはや帰らぬ死者たちにかわって訴えます」／1985年】

「ヒロシマ、ナガサキからのアピール」賛同推進の国内連絡会が作成。この署名活動は、12カ国の世界平和団体が中心となり核兵器廃絶の目的で行われた。

1990

【バッジ「PEACE WAVE 1990」／1990年】

原水爆禁止、被爆者救済、世界平和を目指す原水爆禁止世界大会の記念バッジ。1980年代以降、反核共同行動「平和の波(PEACE WAVE)」をはじめさまざまな平和運動が盛んに行われた。

2011



【写真「福島原発周辺土を採取する安斎育郎名誉館長」／2011年4月16日】

2011年3月11日、東日本大震災が起こり、福島第一原子力発電所の事故が発生した。

2014

【チラシ「戦争反対サウンドデモ in 京都」／2014年】
平和を求め世に問う若者世代の活動が活発になっている。デモの形態もシュプレヒコールにこだわらず、サウンドデモ、しゃぼん玉パレードなど、より自由で楽しく変化している。



ご存知
でしたか?

関西文化の日

11月14日(土)・15日(日)

当日は無料で入館いただけます。
常設展示も併せてご覧いただけます。



交通機関

- JR・近鉄 京都駅より……市バス50、JRバス
- JR・地下鉄 二条駅より……市バス15・55
- 地下鉄 北大路駅より……市バス204・205
- 京阪電車 三條駅より……市バス15・59
- 阪急電車 烏丸駅より……市バス51・55
- 阪急電車 西院駅より……市バス205
- 地下鉄 西大路御池駅より……市バス205
- JR 円町駅より……市バス15・204・205

市バス15・50・51・59にて「立命館大学前」下車／徒歩5分
市バス204・205にて「わら天神前」下車／徒歩10分

※お車でのご来館はご遠慮ください。